



第33話 相談から学ぶ日々

「ちょっと相談があるんだけど」と、日々いろんなご相談を受けます。知り合いからであれば、初対面の方から受けることもあります。議員は「公人」と言われますが、沢山の存在を知ってもらっているからこそ、相談してみようと思ってもらえるのかもしれない。重い悩み事や問題を聴くと、自分の気持ちが落ち込むこともあります。その分いろいろな頑張ることで、一歩前に進

めた時は嬉しくなります。また、地域で福祉や保健医療、NPOなどに携わっておられる方達の存在の大きさを実感することも多く、いろいろな出会いの中で勉強させてもらっています。



年4回開催する「県政・市政おはなし会」でも、様々なご相談をお聞きしています。共に活動する岡山市議の鬼木のみぞさんは心強い相談相手。



おおつかあい・プロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの養育受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子と暮らす。2016年から県議会議員。

大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員
大塚愛 県政レポート[第33号]
発行:2025年1月(2024年11月議会報告)
最新情報を発信しています
Facebook:
・みどり岡山
www.facebook.com/greenokayama
・大塚愛
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
みどり岡山ホームページ:
https://midori-okayama.org/

【事務所】
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel:086-244-7721
Fax:086-244-7724
e-mail:info@midori-okayama.org
http://midori-okayama.org/
【自宅】
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯:070-5056-3808



県政レポート(2025年1月発行) [第33号]



いっぽ通信

P.02-03 ヤングケアラーに届く支援

- P.01 先が読めない時代だからこそ、教育で育む能力も変わる
- P.02-03 おもな活動記録から「「きょうだい」の声/草刈機の実演」
- P.04 愛ちゃんがゆく! —県議体験記—/日々のうごき(2024年10月~12月)



新

春のお慶びを申し上げます。終わりの見えない世界の争いに平和がもたらされますよう、心から祈ると共に、災害が相次いだ能登半島の皆様の復興が進められることを願います。この数年、「先が読めない時代」という言葉を聞くことが増えました。背景には、異常気象、AIなどの技術革新、少子高齢化、新型コロナ感染などがあるようです。

先が読めないからこそ、次世代を担う子どもたちの教育も変化が求められています。これまでは暗記や計算の力が主に問われてきましたが、それらはコンピューターでも代替できる能力であり、今後は人間だからこそその能力、たとえば対話やコミュニケーション、自分で考えて行動できる力などがより必要になると言われています。岡山県教育委員会では、「夢育」*やPBL(課題解決型学習)に力を入れていて、年末に



12月の県政広報テレビでは、大学生の質問に答えながら岡山県の教育についてお話ししました。

力を借りたりしながら、いろんな課題解決にチャレンジした活動が発表され、奉還町商店街の活性化や、交通弱者の移動支援、アニメを使った英語の授業など、高校生自身の思いやアイデアで



新年に家族で撮影。子どもたちは19歳、15歳、10歳に。空中に舞っているのは、3人が投げた落ち葉です。笑

進められる学びはいいものだと感じました。スマホやパソコンで勉強をしたり、オンラインで海外の生徒と話したりできるようになり、学びの可能性は格段に広がっています。また、さまざまな障がいや一斉授業に受け辛

さのある子どもにとっては、このような多様なツールや個々に応じた学習方法がしっかりと活かされることで、より学校が安心できる場になっていけることを望みます。「夢育」:夢を育み、挑戦していく経験を通じて、自分を高める力を養う岡山独自の教育方針

日々のうごき

- 2024年10月~12月
- 10.7-9 教育再生・子ども応援特別委員会 県外調査
- 10.10 ecoアート展 @天神山文化プラザ
- 10.11 みつかフェ@岡山御津高校、総合社会福祉大会@ハルノフ、フラワーデモ@エキチカ広場
- 10.12 障害者スポーツ大会壮行式、車いすロードレース開会式
- 10.13 秋祭り@吉田熊野神社・建部七社八幡宮
- 10.14 曾祖母96歳誕生祝会
- 10.15 衆議院選挙告示、稲刈り@竹枝小
- 10.16 常任委員会(環境文化保健子ども福祉)、収録打ち合わせ、たけべ部@建部中
- 10.17 子ども若者ケアラー支援もみの木定例会
- 10.18 音楽発表会@竹枝小、PFAS問題議員の会会議online
- 10.19 パブリック友の会&のつどい @勤労者福祉センター
- 10.20 原田ケンスケ決起集会、加茂大祭、改悪入管法の廃止を求める会上映会@国際交流センター
- 10.22 DV防止サポートシステムをつなぐ会・岡山
- 10.23 「失敗の日」発表会 @高梁城南高校、竹枝小学校150周年記念実行委員会
- 10.26 手話講座@建部公民館、ゆいネットシンポジウム@岡山中央病院
- 10.27 ハロウィン企画@建部
- 10.28 たけべ中学生だっぴ準備会
- 10.29 鳥城絨作品展@後楽園、岡山きょう

- だいでミーティング
- 10.30 教育再生子ども応援特別委員会県内調査
- 10.31 「たけべ学習」発表会@文化センター、みどり岡山会議
- 11.2 ししまいフェスタ御津公民館祭、岡山映画祭
- 11.4 ゴミ拾い @百間川、岡山映画祭
- 11.5 キウイ収穫@竹枝小
- 11.6 みつかフェ、たけべ部
- 11.10 おかやまマラソン開会式、岡山映画祭、さよなら原発1000万人アクション総会、岡山ユネスコ協会記念式典
- 11.13 たけべ家おこしプロジェクト会議
- 11.14 空き家の相談@御津、県内調査(工業技術センター、国際交流センター)、金剛山歌劇団記念公演
- 11.15 常任委員会
- 11.16 竹小フェスティバル・人文字撮影@竹枝小、岡山朝日高校同窓会
- 11.17 ゴミ拾い@旭川瀬戸内オーシャンズX
- 11.18 会派視察(JFE・三菱水島製作所)
- 11.19 岡山県青少年問題協議会、DV防止啓発パネル展@岡山市役所
- 11.20 常任委員会、県政広報テレビ収録@RNC、岡山の在宅医療と在宅福祉を考える会online
- 11.21 特別委員会、岡山朝日高校150周年記念式典、PFAS問題議員の会勉強会online
- 11.22 県政市政おはなし会@北公民館
- 11.23 建部町公民館文化祭
- 11.24 たけべ部出店@たけべマルシェ
- 11.25 県との懇談@たんぽぽネットワーク
- 11.26 DV防止サポートシステムをつなぐ

- 会・岡山
- 11.27 たけべ中学生だっぴ@建部中学校
- 11.28 社会福祉についての懇談会@東備地域生活支援センター
- 11.29 11月議会開会、済生会病院の緩和ケア@県議会ガン対策協議会
- 11.30 清掃活動@緑と水の道、苫田ダム阻止運動の資料展示会@西大寺
- 12.1 ファシリテーターワークショップ@福武
- 12.3 代表質問(小原議員登壇)
- 12.6~13 一般質問
- 12.7 加茂川ホリデイフォスター、正金猿目荒神組合本神楽@正公会堂
- 12.8 みつ健康マラソン、南條節夫さんを囲む会、ヤングケアラー学生福祉国会
- 12.9 「生きて生きて生きる」上映会@シネまる結び
- 12.11 伊藤謙介氏講演@地域公共セミナー、フラワーデモ
- 12.12 3・11への祈り実行委員会
- 12.13 慎泰俊氏講演会
- 12.15 Xmas会@JDS岡山支部、災害支援報告会@岡山ホープセンター
- 12.16 高校生議会@岡山県議会
- 12.18 常任委員会、精神保健福祉センター訪問、困難女性支援計画の協議@岡山市議会
- 12.20 11月議会閉会、ひとり親家庭支援センター訪問
- 12.21 岡山市移住者相談・交流会@岡山城
- 12.22 講習会@動物愛護センター、「みんなの第九」公演、おもちつき@新山
- 12.23 リモコン草刈機実演会@井原
- 12.24 Xmasコンサート@みつかフェ
- 12.25 夢育PBLフォーラム、インクルーシブ教育ICT活用フォーラム

11月議会代表質問から

ヤングケアラーに届く支援とは



県議会録画
中継はこちら
から



「いっぽ通信Plus!」
動画はこちら
YouTube

ヤングケアラーの 支援について

Q. 2024年6月の法改正によって、ヤングケアラーは「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っている」と認められる子ども・若者」として、国や自治体が支援すべきことが決められました。

県の調査によると、家族のお世話をすることで、日常生活への影響があると答えた県内の子どもは3.8%で、勉強や遊び、睡眠の時間が取れないことや、学校の欠席や遅刻などの影響が出ている現状が明らかになっています。

ヤングケアラーの子どもや若者を支援するためには、まず身近に関わる人がヤングケアラーに気づく視点を持ち、本人の意思を尊重して見守りつつ、必要な支援に繋げていくことが大事です。また、一人ひとりの抱える課題は多様なので、さまざまな関係者が連携して支援を行うことが重要で、特に学校では身近にいる先生がヤングケアラーに気づき、寄り添うことや、福祉的な解決に向けてSSW(スクールソーシャルワーカー)にいち早く相談することが必要です。また、心理的な孤立を防ぐためには、安心して相談できる

窓口やピアサポート(当事者同士の交流)に繋がることも必要です。県はどのように取り組んでいますか。

知事 これまで市町村や関係団体への研修を通じて、支援者の資質向上を進めてきたほか、SNS相談など子ども・若者がアクセスしやすい相談窓口の整備を行ってきた。福祉や教育、介護、医療などの関係者がそれぞれの立場から、困難を抱える子どもや家庭にいち早く気づき、必要な支援につなぐことが何より大切であり、一層の連携ができるよう体制強化をしていきたい。

食育について

Q. 昨今、若年層の生活習慣病が増えていることが懸念されていますが、将来に向けて医療費負担が増えるのを抑えるためにも、食育の推進が必要です。県では年間約1944万円を予算化し、「ジュニア食育プロジェクト」や「朝食を毎日きちんと食べよう大作戦」などを開催してきましたが、まだ拡



ハートフルおかやま110(青少年総合相談センター)では、子どもやその家族から電話やSNSにて年間5000件以上の様々な相談を受けています。



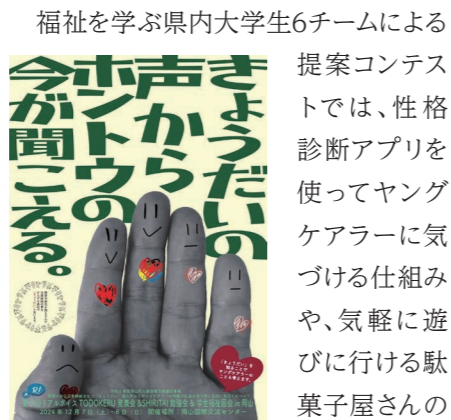
がりが薄いと感じます。県としてどのように取り組んでいますか。

知事 子どもたちに対する食育は、生涯にわたって健全な心と体を培い、豊かな人間性を育む基礎となると考えている。食生活を取り巻く状況が変化中、望ましい食習慣を身につけることが重要であり、未来を担う子どもたちがバランスの取れた食事の大切さを知り、体験できるように、学校、関係団体と緊密に連携して、県全体で食育を推進していきたい。



「ヤングケアラー支援」 学生福祉国会 @岡山きょうだい会(12月8日)

障がいのある兄弟姉妹をもつ方を「きょうだい」と呼びます。岡山きょうだい会は、「きょうだい」やヤングケアラーのリアルな声を伝えたいと毎年イベントを開催されており、今年も参加させていただきました。



おもな「活動記録」から

ような相談窓口など、工夫をこらした提案が出されました。県や市の担当課長さんと共に、私も審査員として発表をお聞きしましたが、学生さん目線のアイデアは参考になるものも多く、今後のヤングケアラー支援に活かしていきたいと思いました。

令和の米騒動について

Q. 国は夏に起きた令和の米騒動について、前年同様に供給が行われていたが、古米と新米の端境期に南海トラフ地震臨時情報が出されたことで、消費者が買い込み、その需要に追いつけなかったことなどを理由に挙げていました。県内の影響の受け止めや今後の安定供給の取り組みはいかがですか。

知事 県内食品スーパーでも8月下旬から1か月ほど品薄になり、販売価格が上がっているのが見受けられた。米の安定供給に向け、国に対して円滑な流通の確保などを働きかけるとともに、生産者に対して、作付けの目安や需給動向などの情報を提供し、かつ省力・低コスト生産や高温対策などの技術指導を行っていききたい。

岡山県の 「地域公共交通計画」 を策定

11月議会の代表質問(自民党)で、知事が「地域公共交通計画」を策定すると答弁しました。私たちの会派も度々質問して求めて

きましたが、これまで「地域公共交通計画は、県ではなく市町村が作った方が望ましい」という考えを続けていました。この度の知事選も経て、公共交通の課題を重く受け止めて、県がようやく策定を決めたことを歓迎しています。誰もが安全に安心して移動できることは、生活

の質に直結する問題であり、さまざまなご意見をお聞きしながら、よりよい県計画にしていけるよう議論していきたいと思います。

知事 地域公共交通の維持・確保にあたっては、これまで交通事業者への支援のほか、市町村の取り組みを支援すると共に、JR在来線などの利用促進に取り組んできたところだ。一方、地域公共交通を取り巻く環境は厳しさを増してきており、この度の選挙を通じて、地域の交通問題の重要性を再認識した。このため、県、市町村、交通事業者がそれぞれの役割を果たしながら、より一層連携して取り組めるよう、県として、施策の方向性やビジョンを示した計画を新たに策定したいと考えており、今後県民をはじめ、広く関係者の意見も伺いながら、具体的に検討していきたい。



子どもの意見を反映 「岡山いきいき子ども 若者プラン」

子どもや若者が健やかに育つ社会づくりを目指した総合的な計画を作るにあたって、今年度は青少年問題協議会や常任委員会のメンバーとして、さまざまな意見を伝えてきました。国の計画に加えられた「子どもの意見表明」も新たに追加、県の計画や施策を決めていく際に、子どもの意見を聴いて反映させていくことを明確にしました。今回の策定にあたって、初の試みとして県内の子どもたちにアンケートを実施しており、2月に結果が取りまとめられ、県HPで公表される予定です。

ん」という機種が使われ、30~40度の傾斜でも転ばずに草を刈りながら進み、30分ほどでため池の法面をほぼ刈り取ることができた様子を見学しました。

高齢化が進む中、中山間地域や農地の草刈りをいかに維持できるか課題となっていますが、このようなリモコン式を導入することで、草刈機を使ったことのない息子さんやお孫さんも興味を持って草刈りしてもらえたというエピソードもあり、今後も草

刈りの省力化に向けたさまざまな取り組みが進むことを期待します。



このような草刈機は中山間地域等直接支払制度の交付金を使って、購入やリースができます。